

株式会社 オープス・ワン
Opus One Co., Ltd.





Dietrich Henschel

ディートリヒ・ヘンシェル

2022 年

巨匠フィッシャー＝ディースカウの後継者 オペラ、リート、現代音楽まで幅広く活躍する名バリトン

ミュンヘン・ビエンナーレでデビュー後、リヨン歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、パリ・シャトレ座、ザルツブルク、フィレンツェの音楽祭など出演多数。シャイー、ヤーコプス、エッセンバツハ、リリング、クリスティ、ペトレンコ、ナガノ、メータ、ドホナーニ、アルブレヒト、ラトル、ティーマン、マイスター、カンブルラン、ピシュコフ、大野和士などの指揮者と共演。映像と音楽を融合させるプロジェクトにも取り組んでおり、シューベルト『白鳥の歌』、ヴォルフ『IRRSAL (狂気の一禁じられた祈祷者たち)』、マーラー『WUNDERHORN (不思議な角笛)』などを、モネ劇場、アン・デア・ウィーン劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパーなどで上演し、話題を呼んでいる。



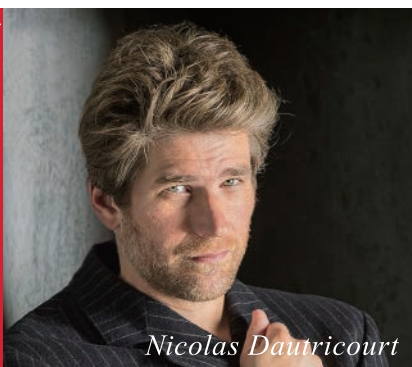
Ricardo Tamura

リカルド・タムラ

2021 年

メトロポリタン歌劇場、ドイツのオペラハウスを席卷 知的でドラマティック、圧倒的な美声

ブラジル生まれの日系三世。地質学と物理学を修め、マサチューセッツ工科大学にも招かれた秀才。声楽は趣味であったが、サンパウロ・オペラハウスのオーディションに合格し、ジュリアード音楽院、チューリヒ歌劇場インターナショナル・オペラ・スタジオで研鑽を積む。「オテッロ」オテッロ、「カルメン」ドン・ホセ、「トゥーランドット」カラフ、「椿姫」アルフレート、「ラ・ボエーム」ロドルフォ、「アイダ」ラダメスなどで活躍。2013年メトロポリタン歌劇場に「トスカ」カヴァラドッシでデビュー後、2015年「ドン・カルロ」タイトルロール、2016年「カヴァレリア・ルスティカーナ」トゥリッドゥなど同劇場にたびたび出演。ドイツ、ニューヨークを拠点に活躍を続ける。



Nicolas Dauricourt

ニコラ・ドートリクール

2021 年

華麗で情熱溢れる音楽表現 今をときめくフランスのエスプリ

フランスの同世代を代表するヴァイオリニスト。フィリップ・ヒルシュホルン、ミリアム・フリート、ジャン＝ジャック・カントロフに師事。ヴィエニャフスキ国際コンクール、ヴィオッティ国際コンクールなど入賞。リンカーン・センター・チェンバー・ミュージック・ソサイエティで活躍。ロイヤル・フィル、フランス国立管、デトロイト響、トゥールーズ・キャピトル国立管、シンフォニア・ヴァルソヴィア、アンサンブル金沢などと、パーヴォ・ヤルヴィ、クリスティアン・アルミンク、山田一樹、ユーリ・バシュメットなどのもとで共演。2016年ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージックにゲストソリストとして招かれるなど、活躍を続けている。



Matt Haimovitz

マット・ハイモヴィッツ

2021 年

卓越した才能と多様なスタイル 注目のヴィルトゥオーゾ

1970年イスラエル生まれ。13歳でメータ指揮イスラエル・フィルのソリストとしてデビュー。1988年レヴァイン指揮シカゴ響をバックにドイツ・グラモフォンでの録音、ボストン響、イギリス室内管、ニューヨーク・フィル、ベルリン・フィルなどと共演。師であるレナード・ローズに代わり、スターン、ミンツ、ズッカーマン、ロストロポーヴィチと共にカーネギー・ホールに登場し、話題を呼んだ。アルバム「Meeting of the Spirits」は2011年のグラミー賞にノミネート。ジュリアード音楽院に学び、レナード・ローズ、ロナルド・レオナルド、ヨーヨー・マなどに師事。ハーバード大学学士号取得。1710年製マテオ・ゴフリラーを使用。



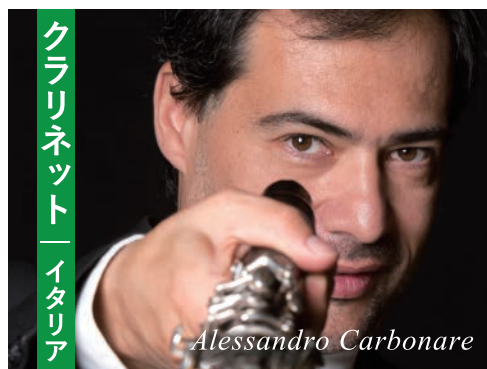
Sebastien Hurtaud

セバスティアン・ユールト

2021 年

巨匠ロストロポーヴィチの魂を彷彿 優雅で知的なチェロの妙技

フランスのラ・ロシェル生まれ。12歳でラ・ロシェル・フィルハーモニー管とコンチェルトデビュー。15歳でチェリビダッケ指揮、パリのスコラ・カントルムオーケストラと共演。パリ国立高等音楽院、デトモルト音楽学校、王立ノーザン音楽大学、コルマル音楽院に学ぶ。アダム国際チェロコンクールにてフランス人初の1位他、ナウムブルク財団コンクール、アルド・パリゾ国際コンクールなど入賞。M.ロストロポーヴィチより薫陶を受け、新曲にも意欲的に取り組む。2015年ラ・ロシェルとイル・ド・レにおけるコンサートシリーズ「The musical seasons in D Major」の芸術監督に就任。2014年ヒンデミットのCDをナクソスよりリリース。



Alessandro Carbonare

アレックスandro・カルボナーレ 2021年7月

アバドも認めた驚異の才能 サンタ・チェチーリア管の首席奏者

1967年イタリア生まれ。パリ、トゥーロン、ジュネーヴ、プラハ、ミュンヘンなど輝かしい国際コンクール受賞歴を誇る。リヨン歌劇場管、フランス国立管首席を経て、2003年よりサンタ・チェチーリア国立アカデミー管の首席奏者。ベルリン・フィル、シカゴ響、ニューヨーク・フィルへ首席奏者として客演。ムーティ、小澤征爾、デットワ、マズア、スヴェトラノフ、ハイティンクなどと共演。アバド指揮ルツェルン音楽祭におけるモーツァルト協奏曲の収録は、2013年第49回レコードアカデミーアワード獲得。ジャズ、クレズマー音楽にも傾倒し、多くのミュージシャンと共演している。サンタ・チェチーリア国立アカデミー、キジアーナ音楽院サマーコース教授。



Philippe Berrod

フィリップ・ベロー 2021年

柔らかな音色と機知に富む表現 パリ管弦楽団首席奏者

パリ国立高等音楽院にてギィ・ドゥブリュに師事し、満場一致の最優秀を獲得。世界各地のオーケストラにソリストとして招かれ、また室内楽共演も数多い。メシアン、ブーレーズ、マントヴァーニなどの著名奏者や作曲家と共演、シルバ・オクテットとの共演ではマーラー・チェンバー・オーケストラ、ヨーロッパ室内管弦楽団、バイエルン放送交響楽団に客演。多くの国際コンクールで受賞多数。ソニー・クラシカル、クリスタル・レコードなど多くのレーベルで録音を行い、受賞も多い。1995年よりパリ管弦楽団首席奏者を務め、パリ国立高等音楽院の首席教授も務める。



Patrick Gallois

パトリック・ガロワ 2021年1月、9月

フルーティスト、指揮者として世界中で活躍
フランスを代表する音楽家

J-P. ランバルに師事し、21歳でロリン・マゼール率いるフランス国立管弦楽団の首席奏者となり、ピエール・ブーレーズ、小澤征爾、レナード・バーンスタイン、セルジュ・チェリビダッケなど名だたる指揮者と共演。その後はソリスト活動に専念し、フルーティストとして初のドイツ・グラモフォンとの専属契約を結ぶなど、世界的に活躍。さらに近年は指揮者としても活動も活発で、シンフォニア・フィンランドの芸術監督を務めた後、現在は世界各地のオーケストラへ客演を行っている。



Ottaviano Cristofoli

オッタビアーノ・クリストーフオリ 2021年

日本フィルハーモニー 客演首席奏者 日本語も自在なスーパープレイヤー

1986年イタリア生まれ。アメリカにてD.クレヴェンジャー、T.ラーセン、C.マーティン、M.リデノア、R.マーティンに師事。ローマ歌劇場管、サンタ・チェチーリア国立管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響などで首席として活躍ほか、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭管(芸術監督C.エッセンバッハ)、シカゴシビックオーケストラ、マイアミ・ニュー・ワールド・シンフォニーオーケストラなどでも演奏。2008年に来日し、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団(芸術監督 佐渡裕)第1奏者を経て、2009年、日本フィルハーモニー交響楽団に入団、現在、客演首席奏者を務める。2016年ソロCD「稲妻〜Fulgor〜」リリース。

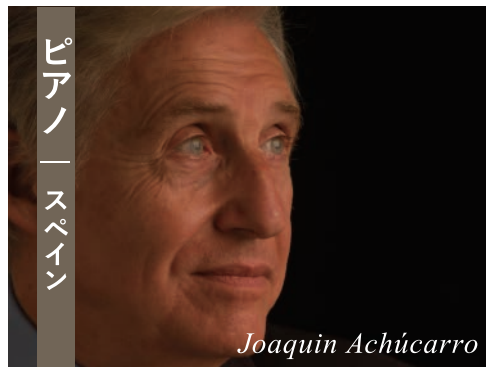


Thomas Hooten

トーマス・フートウン 2021年

アメリカのメジャーオケNo.1の注目株 ロサンゼルス・フィル首席奏者

アトランタ交響楽団首席、インディアナ交響楽団副首席を経て、2012年よりロサンゼルス・フィルハーモニックの首席奏者を務める。2000年にワシントンDCのアメリカ海兵隊軍楽隊でキャリアを開始。2011年、ソロアルバム「トランペット・コール」リリース。ソリスト、クリニック講師として世界各地で活躍しており、またロサンゼルス映画音楽へ参加するなど多彩な活動を行っている。フロリダ州タンパ市出身、南フロリダ大学、ライス大学に学び、アルマンド・ギターラ、ジョン・ハグストローム、ドン・オーウェンなどに師事。現在、南カリフォルニア大学にて教鞭をとり、アスペン音楽祭にもゲストアーティスト・講師として招かれている。



Joaquin Achúcarro

ホアキン・アチュカロ

2021年6月、2022年1月

スペイン・ピアノ界の至宝 情熱を体現する洗練されたピアノイズム

1936年生まれ。1959年リヴァプール国際コンクール優勝以来、ベルリン・フィル他と共演、C.アバド、R.シャイー、C.デイヴィス、Z.メータ、小澤征爾、S.ラトルなどからも絶大な信頼を浴びる、世界最高の巨匠のひとり。衰えぬヴァイタリティ、変わらぬ音楽性を発揮している。2000年「平和のためのユネスコ・アーティスト」に選出。2003年スペイン国王より国家功労十字勲章を授与。1989年よりアメリカの南メソジスト大学の名誉教授、同年よりキジアーナ音楽院国際サマーコースの専任講師。キジアーナ音楽院名誉教授。



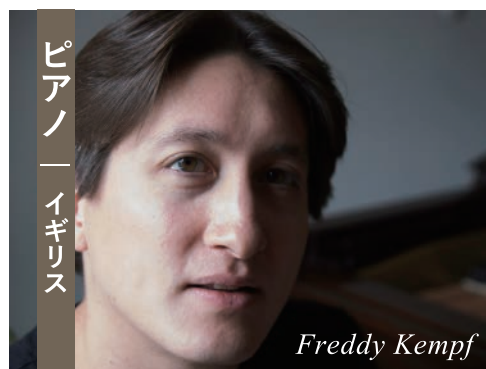
Gloria Campaner

グロリア・カンパネル

2021年

研ぎ澄まされた集中力と情熱 優美で洗練されたスタイル

イタリア・ヴェネツィア生まれ。12歳でヴェネツィア交響楽団と共演デビュー。パデレフスキ国際コンクールほか受賞多数。シュトゥットガルト放送響、ミラノ・スカラ座フィル、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、スイス・イタリア放送響、RAI国立響などと共演。マールボロ音楽祭(芸術監督:内田光子)にも招かれている。CDは、シューマンとラフマニノフ(EMI)、ラフマニノフのコンチェルト第2番(ワーナークラシックス)、シューマンのコンチェルトをリリース。現在、シチリア島メッシーナの「Associazione Bellini」音楽祭コンサートシリーズの芸術監督、南アフリカのネルソン・マンデラ大学のピアノ科教授も務めている。



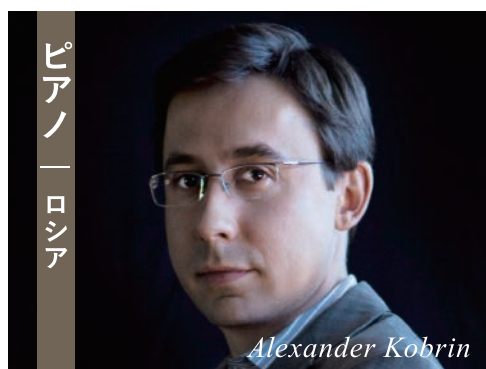
Freddy Kempf

フレディ・ケンプ

2022年

爆発的な超絶技巧と溢れる情感 伝説の巨匠の血をひく無二の才能

1977年ドイツ人の父と日本人の母のもと、ロンドンに生まれる。8歳でロイヤル・フィルハーモニー管とコンチェルトデビュー、1992年BBC ヤング・ミュージシャン・オブ・ザ・イヤー・コンペティション優勝。1988年チャイコフスキー国際コンクール第3位。ロイヤル・フィル、BBCスコティッシュ響、フィルハーモニア管、バーミンガム市響、エーテボリ響、ロシア国立響、ミラノ・スカラ座フィル、フィラデルフィア管、N響、タスマニア響、ドレスデン・フィル、サンクトペテルブルク・フィル、ニュージーランド響、ヘルシンキ・フィル、BBCウェールズ響、ベルゲン・フィル、モスクワ・フィルなどと共演。BIS専属レコーディングアーティスト。



Alexander Kobrin

アレクサンダー・コ布林

2022年

“ヴァン・クライバーンの再来” 華麗で豊かなヴィルトゥオーシティ

1980年モスクワ生まれ。モスクワ音楽院にてタチアナ・ゼリクマン、レフ・ナウモフに師事。ヴァン・クライバーン国際コンクール優勝ほか、ネイガウス、ブゾーニ、浜松、ワルシャワ・ショパンなどで上位入賞。ニューヨーク・フィル、イギリス室内管、ヴェルディ管、スイス・ロマン管、モスクワ・フィル、ベルリン響、ロシア・ナショナル管等と共演。多くの国際コンクールで審査員を務める。グネーシンアカデミー、マネス音楽大学、コロンバス州立大学シュオブ音楽学校、ニューヨーク大学スタインハート音楽学校を経て、現在はイーストマン音楽学校にて教鞭をとる。



Lorenzo Tazzieri

ロレンツォ・タッツィエーリ

2021年

イタリア・オペラの伝統を受け継ぐ気鋭の指揮者

1985年ジェノヴァ生まれ。ジェノヴァ音楽院、モスクワ音楽院にてピアノ、室内楽を学んだ後、ロベルト・トロメリに指揮を師事。ペスカーラ音楽院で指揮法をドナート・レンツェティ、ジルベルト・セレンベに師事。2010年ポーランド国立歌劇場「ウェルテル」でオペラデビュー後、ベッローニ劇場、キアヴァーリ響、アラド州立管、グアテマラシティ管オペラ・ガラ、ベネズエラ響、ペルー国立管、リマ市立劇場、リマ国立大劇場など各地で活躍。2011年イタリア統一150周年記念年には、イタリア文化庁やイタリア文化会館などの公演で多く出演。2014年以降、豊田市コンサートホール「ラ・トラヴィアータ」、「愛の妙薬」などで来日を重ね、更なる活躍が期待される俊英。



Sarah Willis

サラ・ウィリス

2021 年

大人気のベルリン・フィル奏者と
一緒に創り上げるプロジェクト！

教育プログラム&クリニック &アンサンブル〜大合奏まで！

オーケストラの世界最高峰、ベルリン・フィルホルンセクションの紅一点、サラ・ウィリス。パワフルな低音、独創的なアプローチは常に話題を呼び、世界中のホルン奏者の憧れの存在でありながら、気さくで陽気、チャーミングな人柄が万人を虜にしている。そんなサラの才能と魅力が全開の特別企画！

Profile

アメリカ生まれ。13歳でイギリスへ渡る。王立音楽大学短期大学部、ギルドホール音楽演劇学校を経て、ベルリンにて学ぶ。1991年、ダニエル・バレンボイム率いるベルリン国立歌劇場管弦楽団に入団。シカゴ響、ロンドン響、シドニー響などに客演。2001年、ベルリン・フィルに金管セクション初の女性メンバーとして入団。音楽教育に情熱を注ぎ、ベルリン・フィルの教育プログラムやファミリーコンサートにも積極的に参加している。



Quatuor Danel

マルク・ダネル (ヴァイオリン)	Marc Danel
ジル・ミレ (ヴァイオリン)	Gilles Millet
ヴラッド・ボグダナス (ヴィオラ)	Vlad Bogdanas
ヨヴァン・マルコヴィッチ (チェロ)	Yovan Markovitch

ダネル弦楽四重奏団

2021 年

ベルギーが誇る実力派カルテット

ショスタコーヴィチ国際コンクール第1位、エヴィアン国際コンクール第2位など受賞多数。ウィグモアホール、シャトレ座、コンサートヘボウや、北京、台北、ニューヨークなど、世界各地で演奏。ハイドン、ベートーヴェン、シューベルト、ショスタコーヴィチ、ヴァインベルクのカルテットツィクルスや、クセナキスの最後の弦楽四重奏曲のフランス初演など、意欲的な取り組みも高く評価されている。マンチェスター大学の専属カルテットとして、またオランダ弦楽四重奏アカデミー、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、メリーランド大学、国立台北芸術大学、リヨン国立高等音楽・舞踊学校、リール音楽院などで教えている。



Boston Brass

ジェフ・コナー (トランペット)	Jeff Conner
ホセ・シバハ (トランペット)	Jose Sibaja
クリス・カステラノス (ホルン)	Chris Castellanos

ボストン・ブラス

2021 年 5 月

絶妙のアレンジと演出で繰り広げる エンターテインメント

30年以上にわたり活躍を続ける金管五重奏団。クラシックのアレンジ、ジャズスタンダードから金管五重奏のオリジナルレパートリーまで、常に新しいプログラムとユーモアたっぷりのパフォーマンスで多くの観客を虜にしている。これまでに全米49州、30カ国で演奏、年間の公演数は100回を超え、イーストマン音楽学校、ジュリアード音楽院、英国王立音楽アカデミーなど、世界の名門音楽学校でのマスタークラスやコンサートも行っている。様々なスタイルの音楽を抜群のアレンジで縦横無尽に演奏、最高のエンターテインメントを創り上げる。

ドミンゴ・パグリウカ (トロンボーン)	Domingo Pagliuca
ウィリアム・ラッセル (テューバ)	William Russell

岡原 慎也 Shinya Okahara

日本屈指のドイツ・ロマン派



東京藝術大学を経て、ベルリン芸術大学、ミュンヘン音楽大学マスタークラスにて研鑽を積む。シュトイデ・カルテット、ディートリヒ・ヘンシェル、シュテファン・ゲンツ、ヘルマン・ブライ、テオ・アダム、マルティヌー・カルテット、シプリアン・カツァリスなどと国内外で共演多数。チェスキー・クルムロフ音楽祭、リヒャルト・シュトラウス音楽祭、グラン・カナリア音楽祭などに招待される。D.ヘンシェル、H.ドイチュラと「ドイツ歌曲解釈の夏期講習」を開催。93年京都音楽賞、96年大阪文化祭賞本賞、01年音楽クリティッククラブ賞を受賞。現在、大阪音楽大学大学院ピアノ研究室主任教授。日本ドイツリート協会会長。

橘高 昌男 Masao Kitsutaka

抜群のテクニックと豊かな表現



東京藝術大学を首席卒業。第65回日本音楽コンクール第1位。イル・ド・フランス国際ピアノコンクール第1位、ロバート・ウィリアム&エーミー・ブランド国際ピアノコンクール第3位。文化庁在外研修員としてジュネーブ音楽院ソリストディプロム課程卒業後、バリ国立地方音楽院にて更に研鑽を積む。ヨーロッパCATV「MEZZO」、NHK「ぴあのピアノ」「スーパーピアノレッスン」、NHK-FM「名曲リサイタル」に出演。定期的にフランス・フレーヌ他にてマスタークラスやコンサートに招聘されるなど活発な音楽活動を展開。現在、武蔵野音楽大学にて後進の指導にあっている。

黒田 亜樹 Aki Kuroda

ジャンルを越えたマルチピアニスト



東京藝術大学卒業後、伊ベスカール音楽院を最高位修了。フランス音楽コンクール優勝。ジローナ20世紀音楽コンクール現代作品特別賞受賞。現代音楽演奏コンクール優勝、朝日現代音楽賞受賞。「ISCN世界音楽の日々」「現代の音楽展」「サントリーサマーフェスティバル」「B→C」など、内外作品の初演を多数手がける。「タンゴ・プレリュード」「タンゴ2000」(ビクター)、「ブルクミューラ練習曲全集」DVD(イタリアLIMEN)など録音多数。2014年「火の鳥〜20世紀音楽ピアノのための編曲集(米オドラデクレール)」リリース。「東京現音計画」メンバーとして2014年サントリー芸術財団第13回佐治敬三賞受賞。現在、ミラノ在住。
<http://www.kuroaki.net>

ウララ・ササキ Urara Sasaki

ヨーロッパで培った色彩豊かな音楽性



バドヴァ国立音楽院を首席・名誉賞を得て卒業。ウィーン国立音楽大学ソリストクラスを首席卒業。R.ブッフビンダー、T.ニコライエヴァ、H.メディオレツツに師事。パイロイト国際音楽コンクール第一位及びパイロイト市長賞、ロンゴ音楽コンクール、ロベレ・ドーロ国際音楽コンクール、ガルガーノ音楽コンクール、トーレ・オルサイア国際音楽コンクール等で優勝、ベーゼンドルファーピアノコンクール第二位。パーゼル・シンフォニー、パイロイト・ゲラ響等と協演。公開講座や執筆活動など多方面で活躍している。武蔵野音楽大学非常勤講師、(一社)大阪国際音楽アカデミー理事、日本ギロック協会名誉会員。
<http://urarasasaki.com/>

マルモ・ササキ Marumo Sasaki

アジア人初、バレンボイム率いるベルリン歌劇場管奏者



バドヴァ国立音楽院を首席卒業。ローザンヌ音楽院ヴィルトゥオーゾクラスを一等賞・名誉賞を得て卒業。ベルリン国立芸術大学大学院ソリストクラス修了。林峰男、W.ベッティヤ、D.ゲリンガスに師事。ジェノヴァ国際チェロコンクール、アスペッタルティ国際音楽コンクール他優勝。ベルリン・ジャック・ティボー弦楽三重奏団とUSAツアー、バドヴァ・トリオなど各地で演奏会。タルティーニ管、ローザンヌ室内管、バーデン＝バーデン・フィル等と共演。シュレスビヒホルシュタイン音楽祭管、ベルリン響を経て、ベルリン国立歌劇場管にアジア人初の永久正団員として6年間在籍、フォアシュピラーも務めた。
www.marumosasaki.de

木越 洋 Yo Kigoshi

元N響首席奏者 円熟の響き



吉田貴寿、斎藤秀雄に師事し、桐朋学園大学ディプロマ・コース修了。新日本フィルハーモニー交響楽団の首席奏者を経て、文化庁在外芸術研修員としてミュンヘン国立音楽大学に留学し、ワルター・ノータスに師事。ミュンヘン、ジュネーブなどの国際コンクールで入賞。1981年以来、30年以上にわたりNHK交響楽団首席奏者を務めた。退団後も、ソリストとして意欲的に活動し続け、特にバッハの「無伴奏チェロ組曲」演奏会は、高い評価を受ける。スケールの大きい朗々たる輝きとまろやかな美しい音色で聴衆を魅了している。洗足学園大学客員教授、桐朋学園大学講師。

大西 梓 *Azusa Onishi*

本場イタリアで実証済み、正統派ヴァイオリンの音色



桐朋学園大学卒業後イタリアへ渡り、F.モラルッキ音楽院を最優秀卒業。サンタ・チェチーリア国立アカデミーを首席卒業。日本クラシック音楽コンクール第2位(1位なし)。リヴィエラ・エトウルスカ・コンクール第1位。2010年に「Trio Les Amis」を結成し、ロスビギオーシ・コンクール第1位、クレッシェンド・コンクール室内楽部門第1位、パドヴァ国際音楽コンクール室内楽部門第1位。プレミオ・グイード・パビーノ国際室内楽コンクール第2位。フィエソレ音楽院より奨学金を授与。現在、オルケストラ・ダ・カメラ・ディ・ペルージャのメンバーほか、ヨーロッパ各地で活躍。

瀬崎 明日香 *Asuka Sezaki*

しなやかに大胆に・・・研ぎ澄まされる成熟のソリスト



東京藝術大学首席卒業。パリ国立高等音楽院大学院修了。R.パスキエ、J.J.カントロフ、C.イヴァルディ、F.アーヨに師事。第64回日本音楽コンクール1位、L.モーツァルト国際コンクール3位、ヴィエニャフスキ国際コンクール4位、トリエステ国際室内楽コンクール最高位、フォーバルスカラシップ・ストラディヴァリウスコンクール優勝など受賞多数。読響、都響、東響、日フィル、新日フィル、東京シティフィル、大阪交響楽団、アンサンブル金沢、セントラル愛知、札幌、仙台フィル、N響室内合奏団、ミュンヘン放送響、ブルターニュ響等と共演。チャリティ、アウトリーチ活動も積極的に行う。

<http://asukasezaki.com/>

岩下 智子 *Tomoko Iwashita*

華麗でのびやか、心に染み入るフルート



東京藝術大学、同大学院修了。在学中に東京文化会館主催新人推薦音楽会、及び日本演奏連盟新人演奏会に出演。1983年西日本新聞社賞受賞。1986年ドイツ学術交流会(DAAD)給費留学生としてドイツ、デトモルト音楽大学マスタークラス修了。ドイツ各地での演奏会に出演。1988年イタリアのトリエステ・デューイノ国際コンクール第2位(第1位はE.バユ)、ザルツブルグ音楽祭、イギリスノリッジ音楽祭など海外でも活躍。室内楽奏者としても幅広く活躍し、全国で演奏活動を行う。アジア・フルート連盟理事。武蔵野音楽大学講師。

<https://ameblo.jp/love-rinchan/>

瀬尾 和紀 *Kazunori Seo*

多彩で洗練された音楽



パリ国立高等音楽院を首席卒業。ニールセン、ランバル、ジュネーヴなどの国際コンクール受賞。フランスと日本を拠点に、世界各地で、ソリスト活動、音楽祭や国際コンクールの審査員などで活躍。都響、読響、新日本フィル、東京シティ・フィル、大阪フィル、広響、九響、札幌などと共演。近年は、共演ピアニスト、編曲、指揮、音楽アカデミーの主宰、CDレーベル「Virtus Classics」を立ち上げるなど、様々な企画、演奏で話題を呼んでいる。秋吉台ミュージック・アカデミー音楽監督、名古屋音楽大学客員准教授。京都芸術祭賞、北九州市民文化賞、福岡県文化賞を受賞。

<https://kazunoriseo.com>

ヒロ・ノグチ *Hiro Noguchi*

鋭い感覚で多様なスタイルを実践 鬼オトランペッター



米ビーボディ音楽院卒業、メリーランド大学修了。在学中に全米トランペットコンクール2位。「スムーズで官能的(ワシントン・ポスト紙)」など絶賛を浴びる。1999年より8年間アトランティック・プラス・クインテットのメンバーとして活躍。ブロードウェイ、ビッグバンドのリード・トランペット、ニューヨーク・シティパレエ、オルフェウス室内管弦楽団の日本ツアー参加など多彩に活躍。多くの現代作品の世界初演や録音を行う。2016年金管五重奏「アジア・コネクション」設立。教育者としても、2005年幅広い音楽的素養と柔軟性を持つ次世代育成を行う研究会「X会」を設立、意欲的な活動を展開している。

www.geocities.jp/hironoguchimusic/

アジア・コネクション

The Asian Connection B.Q.



アジアを股にかけ活躍する
スーパークインテットによる縦横無尽の
ステージ

◆トランペット: ヒロ・ノグチ (ソリスト、元アトランティック・プラス・クインテット) オッタヴィアーノ・クリストフォリ (日本フィル客演席)

◆ホルン: 高橋将純 (大阪フィル) ◆トロンボーン: 葛西修平 (読響)

◆チューバ: ピーター・リンク (仙台フィル首席)

元アトランティック・プラス・クインテットメンバー、ヒロ・ノグチの呼びかけにより2016年に結成。正統派にしてエキセントリック、アジアとの繋がりを元に生まれた最強のプラスクインテット。通常のコンサートホールでの演奏に加え、学校公演、マスタークラス、オープン・リハーサル、室内楽レッスン、ミニコンサートなどを組み合わせた公演企画や、ジュニア〜シニアまでのアンサンブルを対象にサマーセミナーなど、意欲的な活動を展開している。

懐かしのスクリーンミュージック meets タケカワユキヒデ



■ タケカワユキヒデ (シンガーソングライター)

幅広い世代を対象とした、参加・体験型の企画。タケカワユキヒデさん、室内アンサンブルと一緒にステージで共演します。合唱団参加者は、事前に行うリハーサルでプロの歌手から指導を受け、コンサートに向けて共に練習し、ステージに立つ楽しさを共有します。客席の皆さんも、室内アンサンブルや歌手による映画音楽などを楽しむ他、タケカワさんのヒット曲「ガンダーラ」や「銀河鉄道999」と一緒に歌い、みんなで盛り上がります。



■ 駒井ゆり子 (ソプラノ)



■ マキナ・アンド・カンパニー (室内アンサンブル)



■ 公募などによる地元合唱団との共演ステージ

《別企画もあり》フル・オーケストラと一緒に、「おもしろ音楽会」

クラシックの名曲を楽しいトークで綴る

青島 広志 *世界わくわく音楽紀行 *るんるんおしゃべり with ブルーアイランド楽団 コンサート



■ 青島広志 (作曲・お話・指揮・ピアノほか)



■ ブルーアイランド楽団 (室内オーケストラ：17名)



■ 横山美奈 (ソプラノ)



■ 小野 勉 (テノール)

“青島先生”のピアノと室内オーケストラが、クラシックの名曲で“世界の四季”をお届けする「わくわく音楽紀行」。“青島先生”と歌手が、童謡や日本歌曲からオペラアリアまで、幅広いプログラムと軽妙なトークで魅了する「るんるんおしゃべりコンサート」。どちらの企画も、会場の皆さんと一緒に歌うコーナーなど盛り込み、誰もが楽しめるコンサートです。「わくわく音楽紀行」では、地元の合唱団やソリストを交えることもできます。クリスマスコンサート、ニューイヤーコンサートも大変好評です。

元サーカスメンバーによる参加体験企画&コンサート

2VOICE による 参加体験企画

原 順子 & 叶 央介 (元サーカス)

～声の学校 幸せのレシピ～



コーラスグループ「サーカス」として長年活躍してきた2人が、35周年を機に新たな道を歩き出した。それが「2VOICE」・・・「ふたつ」の声が「ひとつ」になった、だから「2VOICE」。オリジナル・ソングをはじめ、映画音楽、ポップスまで、日本では数少ない本格派ポップ・デュオ！



2VOICEの2人が、ボイス(声)とハーモニーをテーマに行う、大人気のワークショップ。コーラス参加者を募り、発声・息継ぎ・リズムの取り方などワンポイントアドバイスや、どうやったら上手に歌えるかなど、ポップスのノウハウを指導します。様々な世代の方々と新たな出会い、数回にわたる練習を通して交流と連帯感が生まれ、一緒に楽しくコンサート当日を目指します。コンサートでは、2VOICEによるミニライブと2VOICE&コーラスの共演を行い、ステージの高揚と喜びを共有します。



新境地を開拓し続けるギター界のプリンス



Dai Kimura

木村 大 クラシック・ギタリスト

クラシック、ROCKからPOPSまでを横断し、新たなギターの世界を探索し続けるギタリスト。音楽への愛に溢れる自然体のパフォーマンスは、年代性別を超えてあらゆる音楽ファンの共感を生んでいます。

プログラム例 ♪サンバースト/ ムーンタン (Andrew York)
♪天国への階段 ♪スペイン
♪ニュー・シネマ・パラダイス ♪木村大 自作品
♪チェンジ・ザ・ワールド (E. Clapton) 他

第39回東京国際ギターコンクールに14歳で優勝。バルセロナ音楽祭でヨーロッパデビュー。17歳でCDデビューしたアルバム「ザ・カデンツァ17」が大ヒット、この間『トップランナー』『情熱大陸』等テレビ・ラジオに多数出演。スペイン王立セビリア交響楽団全国ツアー(14公演)にソリストとして参加。04年、イギリス留学帰国第一弾として、NHK交響楽団と3夜連続共演。09年フジテレビ系列『すき!地球』のテーマ曲となった自身作曲の「HOME」で作曲能力も高く評価される。これまでに、11作目となる最新アルバム「Rosso Nero」まで、コンスタントにリリース。 **HP** <http://kimuradai.com>

「ルパン三世のテーマ」の生みの親、大野雄二が凄腕ジャズメンと贈る ホットでクールなジャズ・ライブ!!



大野雄二&ルパンティック・シックス

大野雄二が新ユニットを結成! ジャズを独学で学び、慶應大学在学中、ライト・ミュージック・ソサエティに在籍、藤家虹二クインテットで活動始める。多くのCM音楽、「犬神家の一族」「人間の証明」など映画やTV音楽を手がけ、なかでも「ルパン三世」「大追跡」のサウンドトラックは大きな話題をさらった。近年は「ルパン三世テレビスペシャル」、NHK-TV「小さな旅」などの作曲のほか、全国各地でライブ活動を行う。2006年～のYuji Ohno & Lupintic Fiveを経て、2016年、Yuji Ohno & Lupintic Sixを結成、新たなルパンサウンドで再び旋風を巻き起こす!

メンバー

大野 雄二(ピアノ)
市原 康(ドラム)、ミッチー長岡(ベース)
松島 啓之(トランペット)、鈴木 央紹(サクソ)
和泉 聡志(ギター)
宮川 純(ハモンド・オルガン)



HP <http://www.vap.co.jp/ohno/lp6/index.html>

NHK「ピタゴラスイッチ」でお馴染み脱力系バンドの特別コラボ

栗コーダー カルテット with ビューティフルハミングバード



栗コーダー カルテット

栗原 正己(リコーダー、ピアノ、アンデス 他)
川口 義之(リコーダー、パーカッション、サクソ 他)
関島 岳郎(リコーダー、チューバ、口琴 他)

NHK Eテレ「ピタゴラスイッチ」でお馴染みの癒しサウンド。スター・ウォーズ「帝国のマーチ」など映画、テレビ、CM音楽ほか、CDは100を超える。栗コーダー&フレンズとしてアジア5カ国との文化交流プロジェクトを推進中。

HP <http://kuricorder.com/>

ビューティフルハミングバード

小池 光子(歌、鉄琴、ピアノ、パーカッション 他)
タバティ(ギター、ウクレレ、リコーダー 他)

NHKみんなのうた「ウメボシジンセイ」や多くのCMソングでおなじみ。

HP <http://beautifulhummingbird.com/>



絵本 de クラシック

スクリーンに投影した絵本に合わせて物語を朗読、生演奏が物語を盛り上げます。子供の頃に親しんだ絵本も、大人になってから読み直すと違った発見に驚かされます。子供も大人も一緒に、しみじみとした感動が温かいハートフルコンサートをお楽しみ下さい！

絵本例

「ブレーメンの音楽隊」
「ごんぎつね」
「とのさまサンタ」
「オズの魔法使い」
「魔法の笛」



岡村 明美 (語り)

「紅の豚」(フィオ・ピッコロ)、「ONE PIECE」(ナミ)、洋画吹替やゲーム、教育教材、テーマパークのナレーションなど多岐に渡り活躍。

青山 政憲 (ピアノ・作曲)

トラベル・プラス・クインテット
(金管五重奏)

生命を吹き込まれる人形たち…人形劇の概念を覆す、驚異の総合芸術



赤ちゃんから大人まで夢中になれる

～人形劇を年齢を問わない全ての人の文化に

何十もの役柄をひとりで演じ分け、全身を使ったダイナミックなパフォーマンスと圧倒的な操演技術、人形達がまるで生きているかのような衝撃のステージ！「オズの魔法使い」などレパートリーは20を超え、また表現力スキルアップ、人形と一緒に作るなどのワークショップやアウトリーチも実施。

人形劇俳優

たいらじょうの世界



平常 たいら じょう
(人形劇俳優・演出家)

12歳で人形劇デビュー。一人芝居と人形劇を融合させた独自の表現方法を確立。脚本・演出・音楽・美術も手掛ける。「毛皮のマリー」(寺山修司原作)で日本人形劇大賞銀賞受賞多数。NHK「おはよう日本」、フジ「とくダネ!」、TBS「NEWS23」、日テレ「未来シアター」、WOWOW「ノンフィクションW」などで度々取り上げられ、熱い注目を集めている。

HP <http://tairajo.com>

子供は夢を膨らませ、大人は子供心を取り戻す



写真左から 高瀬"makoring"麻里子(ヴォーカル)、坂上領(フルート、etc.)、帆足彩(ヴァイオリン)

チャランガぽよぽよ

「子供は夢を膨らませ、大人は子供心を取り戻す」をコンセプトに活動するラテン系脱力バンド。フルートの坂上領、ヴァイオリンの帆足彩によって2001年に結成されました。チャランガとは、フルートとヴァイオリンが絡み合うキューバのエlegantなラテンスタイルの一つ。「みんなのうた」などを愛のあるアレンジでお届け。日本経済新聞紙上の特集、親子で聴く「音育」でも紹介され、話題になりました。大人も子供も絵本を見ているかのように楽しい、そんな夢いっぱいのバンドです♪



フル編成：フルート、ヴァイオリン、ヴォーカル、ピアノ、ベース、ドラムス(またはパーカッション)の6名

※ご予算に応じた編成が可能です。

プログラム例

♪『チェブラーシカ』より ♪NHK みんなのうた「メトロポリタン美術館」
♪アニメ『ひつじのショーン』テーマ曲
♪NHK フックブックロー「虹になりたい」 などのオリジナルアレンジ、オリジナル曲他

言葉を越えた感動が溢れ出す 語りとピアノでつづる



■ 題材: 童話(アンデルセン、グリム、宮沢賢治など)+クラシック音楽
■ 構成・イラスト・語り: 茂木淳子(音の台所) ■ ピアノ: 川津直子

HP <http://oto-kitchen.com/ongakukamishibai>

音楽紙芝居 ～大人のための～

一枚ずつ絵をめくる紙芝居ではなく、スクリーンに映し出される絵と絵の間をぬって音楽が紡がれます。子どもたちにとっては世界の名作童話と名曲を知る機会、大人にとっては懐かしい童話との再会や読みそびれていた名作に出会う、素敵な体験です。2012年初演以来、ホール、音楽祭、病院などで公演を重ね、静かな感動が話題を呼んでいます。

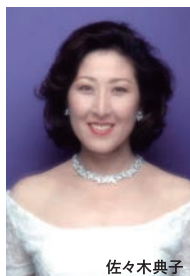
プログラム例

「月夜のナイチンゲール」アンデルセン 「幸福な王子」オスカー・ワイルド
「金の魚」プーシキン 「火打ち箱」アンデルセン
「お菓子の家」グリム「ヘンゼルとグレーテル」より 他

トップ歌手が紡ぐ、心に染み入る極上のリート

ブラームス 愛の歌・ヴォルフ イタリア歌曲

出演: 佐々木典子(ソプラノ) 加納悦子(メゾ・ソプラノ/アルト) 小森輝彦(バリトン) 井出徳彦(ピアノ) 他 テノール1名



佐々木典子



加納悦子



小森輝彦

ブラームス作曲

愛の歌 全18曲
新・愛の歌 全15曲

ピアノ連弾曲としても有名な、恋愛をテーマにしたワルツ集。美しいピアノ連弾と四重唱のハーモニーが、男と女の心の機微をドラマティックに歌い上げる。

ヴォルフ作曲

イタリア歌曲集 全46曲

男女の恋愛のあらゆる場面と感情を凝縮した、きらめく万華鏡のような曲集。

血湧き肉踊る 熱烈パフォーマンス



おぐん 打楽器集団 男群

豪快なアフリカン・パーカッション・アンサンブルから繊細なマリンバ四重奏まで多彩なレパートリー、ワークショップや野外イベント、ライブ、学校芸術鑑賞会、吹奏楽、オーケストラ指導など活躍の場を広げている。第5、6回大阪国際室内楽コンクール&フェスタ フェスタ部門ファイナリスト賞(打楽器アンサンブルで唯一)、第8回大阪国際室内楽コンクール&フェスタ、フェスタ部門銅賞、第1回ネオ・クラシック国際コンクール最優秀賞。

HP <http://www.o-gun.com>

力強く、楽しく、心暖かく 完璧なアンサンブルと美しい旋律



和太鼓 東京打撃団

形式やスタイルにとらわれず「太鼓」の持つ可能性を追求するスーパーアンサンブル。国立劇場「日本の太鼓」、「劇団EXILE」、等の舞台で太鼓指導&楽曲提供。映画では、窪塚洋介主演「凶気の桜」、妻夫木聡・柴咲コウ主演「どろろ」、野村萬斎主演「のぼうの城」への出演参加、三池崇史演出/哀川翔主演の舞台「座頭市」劇中音楽への参加。「EXILE」&「EXILE TRIBE」全国ツアーに参加。ヨーロッパ、メキシコ、東南アジア、アフリカなどでツアーも行う。

HP <http://www.dagekidan.com/info/>

[国内] 国立劇場「日本の太鼓」、「劇団EXILE」、等の舞台で太鼓指導&楽曲提供

映画: 窪塚洋介主演「凶気の桜」、妻夫木聡・柴咲コウ主演「どろろ」、野村萬斎主演「のぼうの城」への出演参加

三池崇史演出/哀川翔主演の舞台「座頭市」劇中音楽への参加/「EXILE」&「EXILE TRIBE」全国ツアーに参加 など

[海外] ヨーロッパ、メキシコ、東南アジア、アフリカなどでツアー



株式会社 オーパス・ワン
Opus One Co., Ltd.

〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-13
神田第4アメレックスビル 402号室
Tel. 03-5577-2072 Fax. 03-5577-2073
info@opus-one.jp <http://opus-one.jp>